

三条教区通信

第117号

発行日 2017年4月1日
 発行者 三条教務所長 森田成美
 発行所 真宗大谷派三条教務所
 〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
 E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
 ホームページ: www.gobosama.net

三条教区 🔍

今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

ぶつ みな
仏の御名をきくひとは

ふたい
ながく不退にかなうなり

『浄土和讃』親鸞聖人

Those who hear the Buddha's Name attain forever
the stage of nonretrogression.

Hymns of the Pure Land, Shinran Shōnin

三条教区災害対策委員会のお知らせ

熊本地震 糸魚川大規模火災により被災された皆様
心よりお見舞い申し上げます

2016(平成 28)年熊本地震について、教区内寺院・教会
をはじめ有縁の皆様から募りました救援金は、2017年3月
31日現在で総額6,345,671円となりました。2016年6月30
日付で4,097,161円、11月30日付で1,615,671円を送金
いたしましたことをご報告申し上げます。救援金は現在も受
付を継続させていただいておりますので、引き続きご協力
賜りますよう、何卒、お願い申し上げます。

また、東日本大震災救援金は2014年度末(2015年6月
30日)現在、総額14,424,675円となりました(使途:仙台教
区へ10,000,000円、東京教区へ2,000,000円、復興支援
活動資金3,825,805円)。2015年度より、東日本大震災救
援金は、引き続き災害救援・復興カンパ金としてお受けい
たしており、現在までにご協力いただいた金額は426,559
円となりました。

御礼を申し上げますとともに、今後とも皆様のご理解とご
協力をお願い申し上げます。

研修会のご案内

■ 仏青交流研修会

開催案内同封

- ◆日時 2017年4月12日(水) 14:00~17:00
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆講師 松下弓月氏(真言宗僧侶・臨床心理士)

◆内容 臨床心理学をグループケアに活かす—儀礼とそ
の心理学的意義—

- ◆参加費 500円
- ◆対象 僧侶
- ◆申込み 不要
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

■ 春季声明講習会

開催案内既送

- ◆日時 2017年4月19日(水) 10:00~16:00
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆講師 泉 康夫氏(本廟部 堂衆)
- ◆内容 葬儀式について
- ◆参加費 500円
- ◆対象 僧侶
- ◆申込み 不要
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

■ [保育]新任者研修会 大谷保育協会加盟園にご案内

- ◆日時 2017年4月22日(土)13:00~16:30
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆講師 白鳥道子氏(第15組本龍寺)
森田成美三条教務所長
- ◆テーマ 仏教讃歌
- ◆参加費 500円
- ◆対象 大谷保育協会三条支部加盟園職員
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宇佐美)

■ みのりの会

開催案内既送

- ◆期間 2017年4月24日(月)~25日(火)
- ◆場所 瀬波温泉 大観荘せなみの湯
- ◆講師 大平博義氏(第22組安善寺)
- ◆参加費 15,000円(宿泊費・食費3食・記念写真代等)
- ◆対象 坊守、前坊守、准坊守、若坊守
- ◆主催 三条教区坊守会
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宇佐美)

■ 新任教師研修会

開催案内既送

- ◆日時 2017年5月21日(日)~22日(月)
- ◆会場 教区同朋会館
- ◆講師 竹橋 太氏(儀式指導研究所研究員)
- ◆講題 「真宗の教えと儀式」
- ◆参加費 4,000円(夕食・朝食、懇親会費、宿泊冥加金含む)
- ◆対象 大谷派教師資格取得後5年以内の方または寺院
に戻って5年以内の方、その他、受講を希望
される大谷派教師の方。

■ 新潟地区女性研修会

開催案内同封

- ◆日時 2017年5月30日(火) 9:30~15:00
- ◆場所 第20組 常明寺
- ◆講師 齊藤 研氏(第15組正樂寺)
- ◆テーマ 「正信偈に学ぶ」~人身受け難し~

- ◆対象 どなたでも
- ◆参加費 1,500 円(昼食代を含む)
- ◆申込み 5月19日(金)まで
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宇佐美)

■ 推進員・育成員共学研修会 開催案内後送

- ◆日時 ①2017年6月27日(火) 13:30~16:30
②2017年6月30日(金) 13:30~16:30
- ◆場所 ①第15組浄覚寺、②第10組聞光寺
- ◆講師 田澤一明氏(第19組 明誓寺)
- ◆対象 広く推進員・育成員の皆様
- ◆申込み 事前申し込み不要
- ◆その他 ①・②は同じ内容です。ご都合に合わせてお越しください
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

■ 若坊守・准坊守のつどい 報告

第13組本町善行寺 松野暁子
一足早く春が来たような日差ししの2月25日、三条別院旧御堂にて「若坊守・准坊守のつどい」が開催されました。

まず正信偈でお勤めをし、その後昼食タイム。普段はなかなか会うことのできない他組の准坊守さんたちと顔を合わせ、食事をしながらお話をしました。何を話そうか…と考える間もなく、どんどん話が弾んでいきました。寺ならではの疑問や悩みを出し合ったり、保育室に預けた子どもたちの話をしたりと、すぐに打ち解けることができました。

講師の神部響氏(第13組西方寺)には、お荘厳について教えていただきました。お荘厳には、一つ一つに意味があること、教えそのものが形となって表れているものだという事をお聞きし、仏具や法衣などをもっと丁寧に扱わなければ、と気づかされました。



講義の様子 於旧御堂

若坊守・准坊守として寺で生きていく、それにはまず、このような場で人と出会うことが大切なのだ、と強く感じた研修会でした。

■ 教学研修会 報告

教学研究会部門スタッフ 第15組長泉寺 石塚祐堂
今年の教学研究会は、2017年3月1日から2日にかけて、藤場俊基氏をご講師に迎え、『教行信証』化身土巻をテーマに講義をいただいた。

今年は講義だけではなく、攻究・座談を取り入れ、その後まとめの講義をいただくという内容で2日間を過ごし、参

加者の理解と研鑽の一助となった。



講義風景 於旧御堂

講義中の藤場氏の発言で気になった言葉、「成長という『濁り』」。成長という言葉には、どこか成功をイメージしがちだ。しかし、その思いにはどこか、おごりがあつたりしないか。「成長」という言葉をいいとこどりしてる自分がある。「濁り」という言葉に、そんな感慨を覚えた。

教巻に「時機純熟」と親鸞聖人は述べられたが、今という「時」、この身という「機」をいったいどう見るのだろうか。『歎異抄』が語る「罪悪深重煩惱熾盛の衆生」という悲しくも尊い自己認識を、親鸞聖人は「化身土」という世界に表明してきたのではないか。

来年の教学研究会、藤場氏に再会することは大事な確かめとなることを期したい。

教務所からのお知らせ

◎情報をお寄せください

教区教化研修計画 教化重点項目「報恩講」の取り組みとして、特徴的な活動をされているお寺を皆様にご紹介したく思っております。自薦・他薦問わず、ぜひ三条教務所駐在教導 西山までご紹介ください。

また、報恩講の繁盛に向けた課題や悩みもご相談ください。教化委員会における報恩講活性化プロジェクトの企画検討項目として報告させていただきます。

◎告示

三条教告示第1号

2017年4月1日

三条教務所長 森田 成美

任期満了に伴う正副組長選挙において下記の者が当選したので、組制施行条規第26条第1項により告示する。

組名	正副	氏名	寺院名
第10組	正	毛利 信彦	専福寺
第10組	副	吉藤 廣磨	専超寺
第10組	副	多田 誓	専徳寺
第11組	正	高橋 悉	願興寺
第11組	副	北島 栄誠	長福寺
第11組	副	高尾 和人	浄善寺
第12組	正	大瀧 定賢	専正寺
第12組	副	大平 浩順	徳善寺
第13組	正	日野 端栄	浄福寺

第13組	副	光澤 顕朗	稱讚寺
第14組	正	佐々木 信和	西巖寺
第14組	副	佐伯 祐晃	靈善寺
第15組	正	山宮 修靈	永閑寺
第15組	副	佐々木 憲雄	光善寺
第15組	副	白鳥 賢	本龍寺
第16組	正	堀川 秀道	淨専寺
第16組	副	西窪 守	永蓮寺
第17組	正	新田 顕祐	光照寺
第17組	副	吉藤 信彰	専福寺
第18組	正	田中 静麿	西照寺
第18組	副	関崎 幸孝	重蓮寺
第19組	正	松澤 孝然	浄林寺
第19組	副	石川 満	満願寺
第19組	副	武田 誠	行順寺
第20組	正	高田 正人	西養寺
第20組	副	今井 悟	西圓寺
第20組	副	多田 修	照覺寺
第21組	正	今湊 良信	勝念寺
第21組	副	笠原 円秀	正福寺
第22組	正	手島 勇平	順了寺
第22組	副	花房 憲証	善龍寺
第22組	副	村山 秀映	浄音寺
第23組	正	本間 正順	善照寺
第23組	副	渡邊 恵円	光圓寺
第23組	副	本多 信行	安念寺
第24組	正	渡邊 昭二	西永寺
第24組	副	松木 讓	専明寺
佐渡組	正	松本 雅裕	善宗寺
佐渡組	副	松本 昭則	本龍寺
佐渡組	副	小林 祐玄	萬照寺

以上

◎教区行事予定表 2017年

4/3(月)	~4(火)別院こどもほうしだん ~5(水)春期一時保養
4/8(土)	真宗学院始業
4/12(水) 14:00 16:00	仏青交流研修会 選挙管理会
4/13(木)	教信証読会 教化センター
4/15(土)	真宗学院
4/17(月)	推進員連絡協議会執行部会議
4/18(火) 13:30	選挙管理会(無投票の場合は中止) 投票管理者・立会人説明会(無投票 の場合は中止)
4/19(水) 9:30	秋季声明講習会
4/20(木)	三条声明会 教化センター
4/21(金) 14:00	研修部会
4/22(土)	~23(日)教区会議員選挙不在者投票 7:00~19:00(無投票の場合中止) 真宗学院 保育新任者研修会 13:00~16:30
4/24(月) 16:00	教区会議員選挙の日(各投票所) 教学研究会輪読会
4/26(水) 14:00	企画委員会
4/27(木)	教化センター
4/28(金) 10:30	女性研修会部門会議・学習会
4/29(土)	真宗学院

5/2(火) 14:00	院議会臨時会
5/6(土)	真宗学院
5/11(木) 14:00	教区会臨時会 教化センター
5/12(金) 14:00	教区門徒会臨時会

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれます。また、日程は変更される場合があります。

駐在教導のつぶやき

駐在教導 藤波法英

5歳になった娘が♪いーつの一こと一だかー…と、卒業式の定番ソング「おもいでのアラバム」を口ずさんでいた。
▼春彼岸を過ぎ、卒業や入学のシーズン到来だ▼この時期になると「のんのさま」という歌を思い出す▼これは、かつて働いていた幼稚園の卒園式の日、お母さん方から子どもたちへ贈られる歌であった▼歌詞はこうである。

ナンナンンの のんのさま
この子のいのち まもりゃんせ
この子の明日 まもりゃんせ
この子の未来 まもりゃんせ
ナンナンンの のんのさま
この子の友だち まもりゃんせ
この子の地球 まもりゃんせ
この子の夢を まもりゃんせ

七つの海に 橋架けて
世界をつなごう 手をつなごう
橋は橋でも 虹の橋
世界の子どもが 遊ぶ橋 (作詞:東村美穂)

▼歌詞の中に「七つの海」という言葉が出てくる▼具体的な7つの海域を数え上げることもあるようであるが、調べてみると「全世界の海」と理解して良いようだ▼そして、改めて歌詞に触れてみると、現在の世界情勢からしても歌に込められた願いが迫ってくる▼なぜなら今年3月半ばに秋田県男鹿市(小学校児童を含む)において、海を越えて飛んでくるミサイルを想定しての避難訓練が行われたからだ▼「のんのさま」は1980年代に一般公募から生まれた作品であるが、戦中戦後を生きた園長・副園長先生が大切にされ、もっとも大切な門出の日歌われていた理由が今になって感じ取れたような気がする▼海を隔て、陸と陸とを弧を描いてつなぐものがミサイルの弾道であってはならない。

新潟親鸞学会からのお知らせ

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄 超願寺内
Tel 025-222-2820 Fax 025-222-2830 Mail choganji@nifty.com

